羽合小
学校便り
文責　小林

はわいの風2

NO　41
令和２年
11月24日(火)

羽合小学校に赴任してから話していることです。元気に登校しまじめに勉強する。あいさつを自分からする。相手からされたら必ず返す。そうじに頑張る。ありがとうやごめんなさいが言える。友だちや周りの人を大切にする。変化の激しい社会であっても人として大事な基礎となることを、この小学校の時期に「当たり前」にさせないといけないと思っています。

オンラインゲームの使い方　大丈夫ですか

先日米子にJRを使って行きました。同じ車両に乗っている人は、寝ている人以外は、全員が自分のスマートフォンを見つめて、忙しそうに指を動かしています。社会の急激な変化に伴い、生活のスタイルも大きく変わってきたと本当に実感します。

今はパソコンや携帯電話、その機能を合わせ持ったスマートフォンなしでは、日常生活が成り立たないと言ってもいいほど私たちの生活に深く入り込んでいます。大人だけでなく、生まれた時からネット社会で生きている子どもたちは、ほとんどの子がラインなどのアプリ、ユーチューブやネット上のゲームなどを実際に使っています。子どもたちにとってネット社会はもう当たり前なのです。

それは便利さと同時に危険も併せ持っているということを、子どもも保護者も教職員も理解していなければなりません。その中で注意しなければならないことがいくつかあります。

・顔が見えないので、暴言や人を傷つける言葉が飛び交いやすい。
・ネットで発信した言葉や名前や写真などの個人情報が拡散しやすい。
・相手の気持ちや真偽を確かめることが難しい。
・発信した（された）内容は回収、削除が難しい。

など他にも多くの課題が指摘されているところです。

先日、オンラインゲームでのトラブルの報告がありました。オンラインゲームに参加していた子どもたちが、同じゲームに参加していた身元の分からない人と口論になり、ボイスチャットで知りえた子どもたちの名前をネットにさらしてやると脅され心配になったということでした。ネット上に子どもの個人情報がアップされた事実は把握していませんが、実際にネットを介して小学生が被害に遭っている事例も身近にたくさん起こっています。また何万円もゲームの課金に使っているという話も聞きます。小学生が夜中にヘッドホンをつけ大きな声を出してゲームに興じている姿は感心しません。ゲームを楽しむことは悪いことではありませんが、そこにはルールが必要です。

PTA役員さんと話し合い、近いうちに保護者の皆さんにお願いの文書を出す予定です。学校では情報モラルの指導を行います。与える側の保護者の皆さんには、家庭での決まり事を話し合い、年齢制限など決めたルールを守って使わせるように協力をお願いしたいと思います。

スマホやタブレット、ゲーム機など魅力のあるものが溢れています。しかし、どのように付き合うかで子どもの成長に大きく関わってきます。子どもたちには正しい習慣やルールを低学年のうちから身に付けさせたい。これは学校と親の重要な役割だと思っています。